

岡山県感染症週報 2011 年 第 22 週 (5 月 30 日 ~ 6 月 5 日)

◆2011 年 第 22 週 (5/30 ~ 6/5) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

17 週 2 類感染症 結核 1 名 (60 代 男)

21 週 2 類感染症 結核 3 名 (50 代 女 1 名、60 代 女 1 名、90 代 男 1 名)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 (O165) 1 名 (10 代 男) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○ 県内のインフルエンザの定点あたり患者報告数は前週より減少しました。

岡山県では 6 月 9 日をもって『インフルエンザ注意報 解除』になりました。

○ 手足口病、ヘルパンギーナの発生が今週も増加しています。

■【速報】岡山県内で日本紅斑熱の発生がありました (6 月 6 日発生)。

1. 県内のインフルエンザの定点あたり患者報告数は、前週より減少しました (0.73 → 0.46 人)。平成 23 年 1 月 20 日に発令されたインフルエンザ注意報は、6 月 9 日をもって解除になりました。
2. 手足口病の定点あたり患者報告数は、今週も増加しました (3.37 → 4.80 人)。岡山市、倉敷市、美作地域では、大きな流行が発生または継続しつつあると考えられる感染症発生レベル 3 になりました。
3. ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数は、今週も増加しました (0.85 → 1.31 人)。手足口病、ヘルパンギーナについては **今週の注目感染症** をご覧下さい。
4. 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の定点あたり患者報告数が増加しました (1.20 → 1.48 人)。特に倉敷市ではひきつづき発生の多い状態が続いています (定点あたり 3.45 人)。今年は、2006 年以來の患者発生が多い年です。今後の動向に注意して下さい。
5. 岡山市で、集団かぜによる学級閉鎖が 1 校ありました。
6. 日本紅斑熱が県内で確認されました。2009 年 10 月以來、2 年ぶりです。春から秋は日本紅斑熱の発生が多い時期です。野山に入るときには注意が必要です。詳しくは感染症情報センターホームページ【注意！】岡山県で日本紅斑熱が発生しました。をご覧下さい。なお、『全数把握感染症患者発生状況』の表への記載は第 23 週になります。

週の流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★	水痘		★
手足口病		★★★★★★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎		★	流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

- 前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↘ 1.1～2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

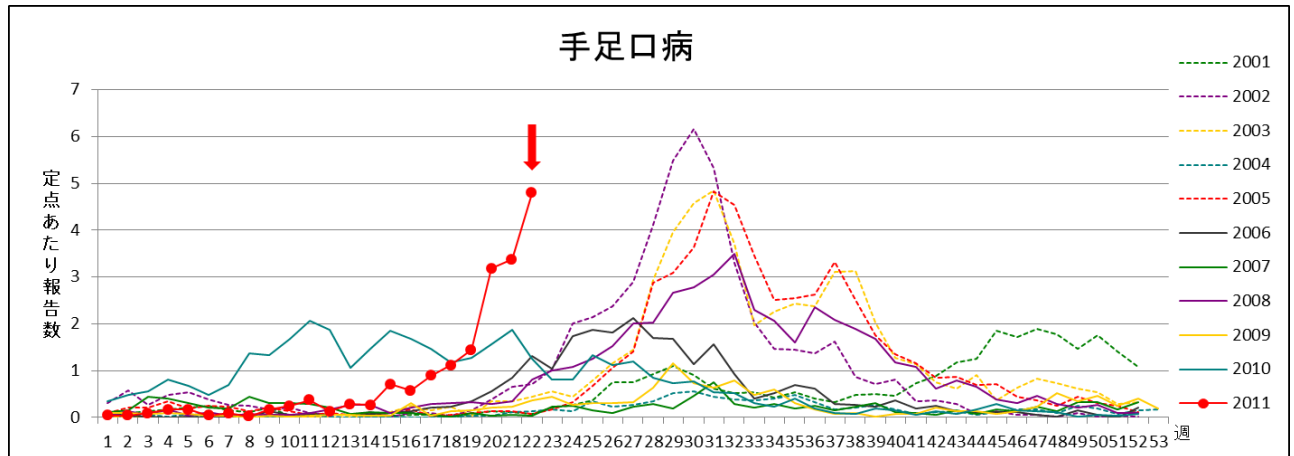
流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

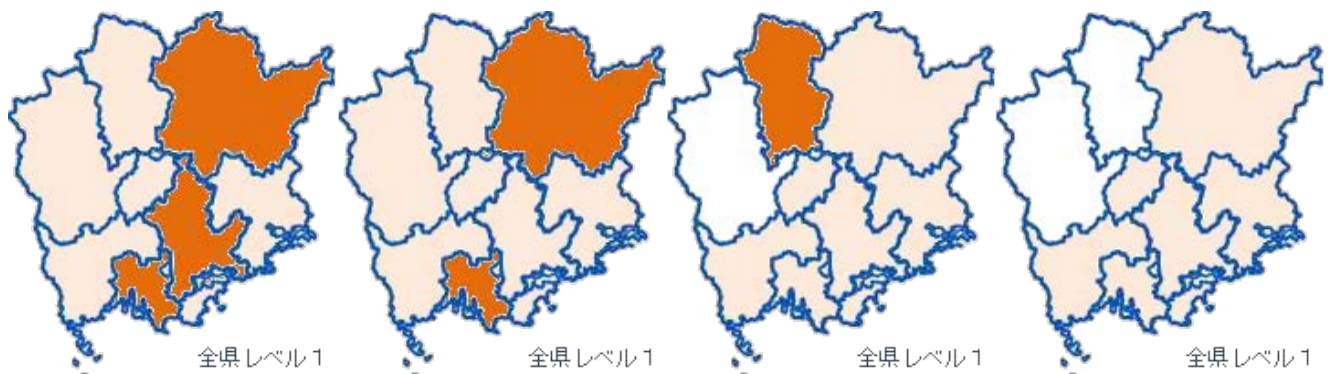
手足口病の定点あたり患者報告数は、先週より大幅に増加しました（定点あたり 3.37→ 4.80 人）。岡山県では、今年は患者発生の時期が過去10年に比べ早くなっています。全国では西日本での発生が多くなっています。患者数が増加したのは岡山市（3.43→5.71人）、倉敷市（5.55→8.45人）、備中地域（0.71→1.29人）、備北地域（0.25→1.00人）、真庭地域（1.00→4.00人）、美作地域（6.17→7.00人）で、県内全域で発生が増えました。岡山市、倉敷市、美作地域では大きな流行が発生または継続しつつあると考えられるレベル3になりました。今後もさらに発生が増加する可能性があります。

手足口病は、夏に幼児を中心に流行する感染症です。県内でも1歳代が最も多く、ついで2歳、3歳の順で、3歳以下で全体の90%を占めています。発熱は軽度で、口腔粘膜および手のひら、足底や足背に2～5mmの水疱性発疹が出現するのが特徴です。



岡山県地区別 感染症マップ 手足口病 2011年 22週

22週 5/30～ 6/5 21週 5/23～ 5/29 20週 5/16 ～ 5/22 19週 5/9 ～ 5/15



手足口病

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
5	2		0 < 5未満	0

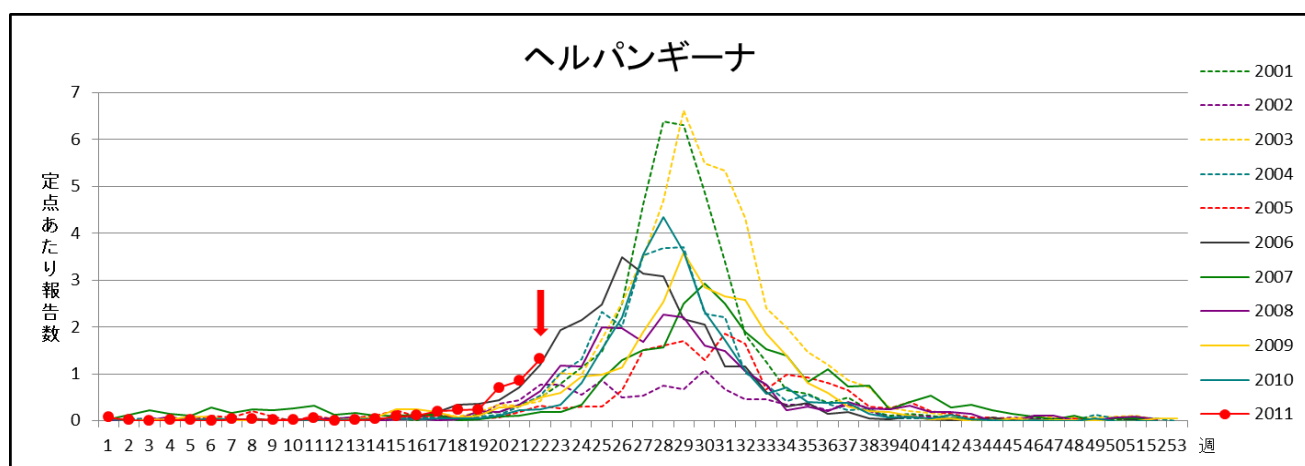
レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないと レベル3が継続されます

ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数が増え（定点あたり 0.85 → 1.31 人）、特に岡山市（1.79 → 2.50 人）、倉敷市（0.64 → 2.36 人）では発生が増えました。

ヘルパンギーナは夏に流行する幼児の急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。毎年5月頃より増加し始め、6～7月にかけて発生がピークになり、8月に減少し、9～10月にはほとんど見られなくなります。全国では過去10年での流行のピークは、第27～29週にみられます。今後、さらに発生の増加が考えられます。

患者の年齢は4歳以下がほとんどで、県内でも1歳代が最も多く、ついで2歳、3歳の順で、4歳以下で全体の80%を占めています。

症状は、突然の発熱につづいて咽頭痛が出現し、口腔内に直径1～2mmの小水疱が出現するのが特徴です。



ひきつづき、夏に流行が見られる感染症の発生が増えています。保育園、幼稚園などでは集団発生する可能性もあります。

いずれの感染症も予後は良好ですが、口腔内の小水疱が破れて痛みを伴うため、食べ物や水分の摂取ができにくくなり、脱水症につながる場合がありますので注意が必要です。

体調を崩しやすい時期です。お子さんの体調の変化に注意して、早めに医療機関を受診しましょう。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています

保健所別報告患者数 2011年 22週 (2011/05/30～2011/06/05)

2011年6月8日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	39	0.46	12	0.55	10	0.63	8	0.53	8	0.67	-	-	1	0.33	-	-
RSウイルス感染症	3	0.06	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	21	0.39	8	0.57	2	0.18	-	-	3	0.43	-	-	-	-	8	1.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	1.02	13	0.93	20	1.82	-	-	11	1.57	-	-	6	3.00	5	0.83
感染性胃腸炎	288	5.33	55	3.93	57	5.18	91	9.10	18	2.57	20	5.00	14	7.00	33	5.50
水痘	42	0.78	10	0.71	6	0.55	9	0.90	1	0.14	2	0.50	2	1.00	12	2.00
手足口病	259	4.80	80	5.71	93	8.45	23	2.30	9	1.29	4	1.00	8	4.00	42	7.00
伝染性紅斑	13	0.24	6	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	6	1.00
突発性発疹	29	0.54	11	0.79	6	0.55	1	0.10	4	0.57	1	0.25	2	1.00	4	0.67
百日咳	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	71	1.31	35	2.50	26	2.36	3	0.30	-	-	-	-	2	1.00	5	0.83
流行性耳下腺炎	80	1.48	26	1.86	38	3.45	7	0.70	1	0.14	6	1.50	1	0.50	1	0.17
急性出血性結膜炎	1	0.08	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	3	0.60	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 22週 (2011/05/30～2011/06/05)

2011年6月8日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	39	0.46	12	0.55	10	0.63	8	0.53	8	0.67	-	-	1	0.33	-	-
咽頭結膜熱	21	0.39	8	0.57	2	0.18	-	-	3	0.43	-	-	-	-	8	1.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	1.02	13	0.93	20	1.82	-	-	11	1.57	-	-	6	3.00	5	0.83
感染性胃腸炎	288	5.33	55	3.93	57	5.18	91	9.10	18	2.57	20	5.00	14	7.00	33	5.50
水痘	42	0.78	10	0.71	6	0.55	9	0.90	1	0.14	2	0.50	2	1.00	12	2.00
手足口病	259	4.80	80	5.71	93	8.45	23	2.30	9	1.29	4	1.00	8	4.00	42	7.00
伝染性紅斑	13	0.24	6	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	6	1.00
百日咳	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	71	1.31	35	2.50	26	2.36	3	0.30	-	-	-	-	2	1.00	5	0.83
流行性耳下腺炎	80	1.48	26	1.86	38	3.45	7	0.70	1	0.14	6	1.50	1	0.50	1	0.17
急性出血性結膜炎	1	0.08	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	3	0.60	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第22週 2011/05/30～2011/06/05)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	39	-	-	-	3	2	4	3	4	1	1	3	1	-	4	6	2	3	2	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	3	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	21	-	2	5	3	3	3	1	3	-	-	1	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	-	-	2	5	2	9	8	5	8	6	5	4	-	1
感染性胃腸炎	288	5	25	44	32	29	22	29	15	15	8	10	21	5	28
水痘	42	4	2	7	6	6	4	6	2	2	-	1	2	-	-
手足口病	259	7	22	119	64	27	12	4	1	-	1	-	-	-	2
伝染性紅斑	13	-	1	2	1	1	4	1	1	1	1	-	-	-	-
突発性発疹	29	-	19	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	71	1	7	22	13	9	6	6	4	1	-	2	-	-	-
流行性耳下腺炎	80	-	1	4	8	14	10	8	9	8	5	2	10	1	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

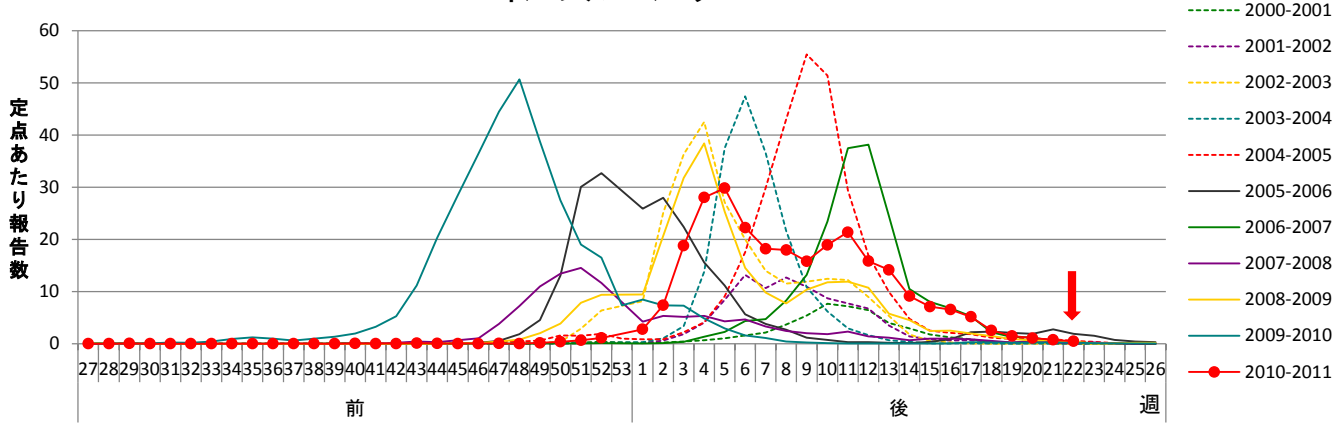
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

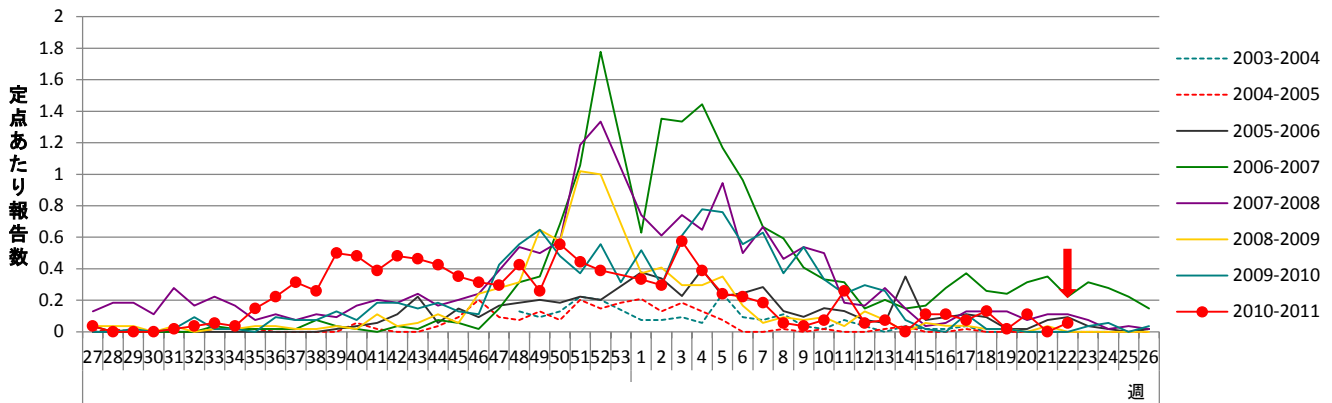
2011年 22週

分類	疾病名	2011			疾病名	2011			疾病名	2011		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	137	353	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群*1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	10	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	2
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	1	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ*2	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	4	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	5	13	ウイルス性肝炎*3	-	2	7	急性脳炎*4	-	-	1
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	3	22	ジアルジア症	-	1	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	3	9	破傷風	-	1	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	-	2
	麻しん	-	3	3		-	-	-		-	-	-

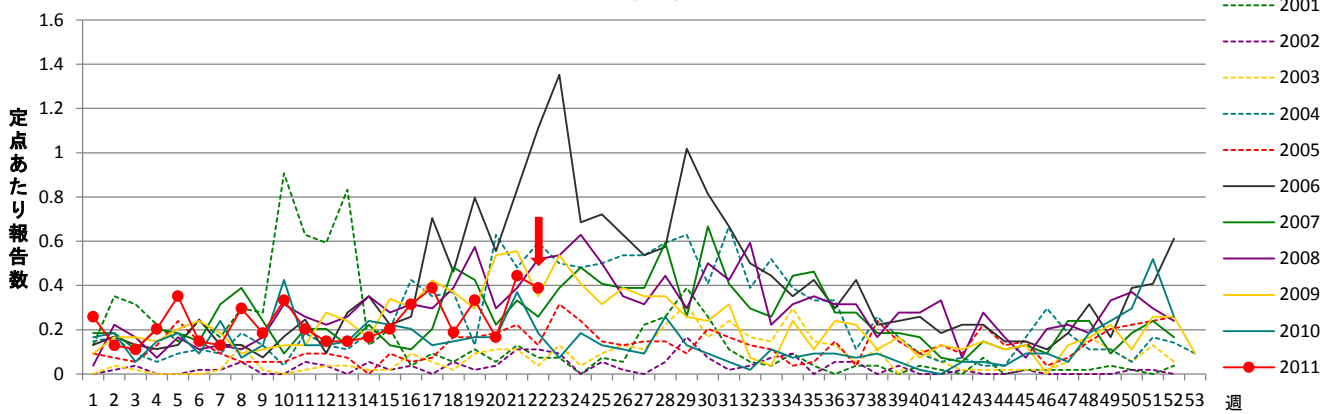
インフルエンザ



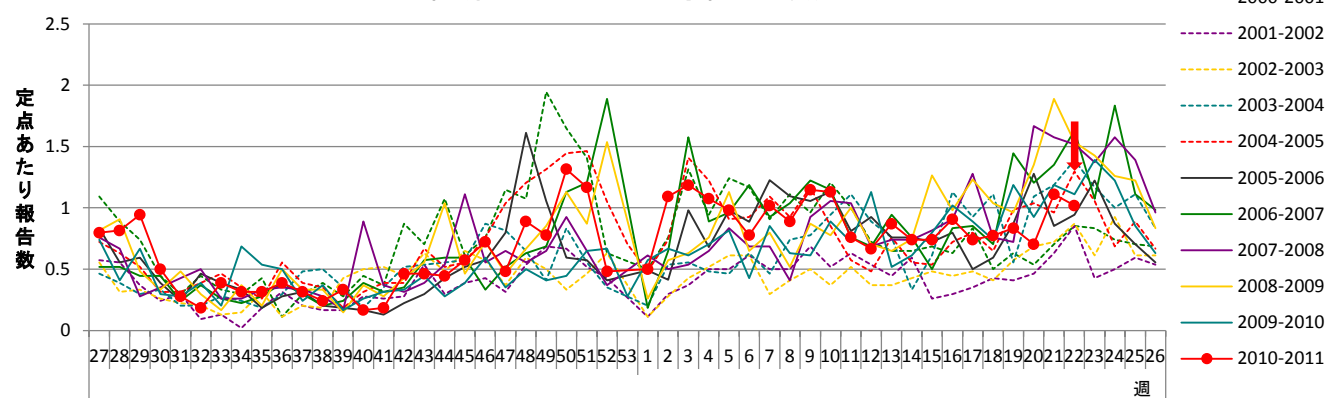
RSウイルス感染症



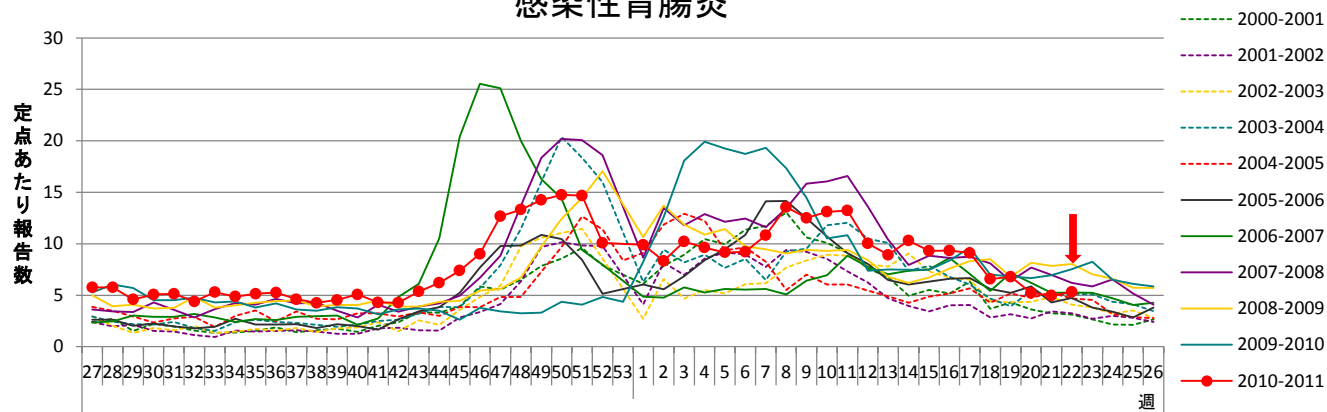
咽頭結膜熱



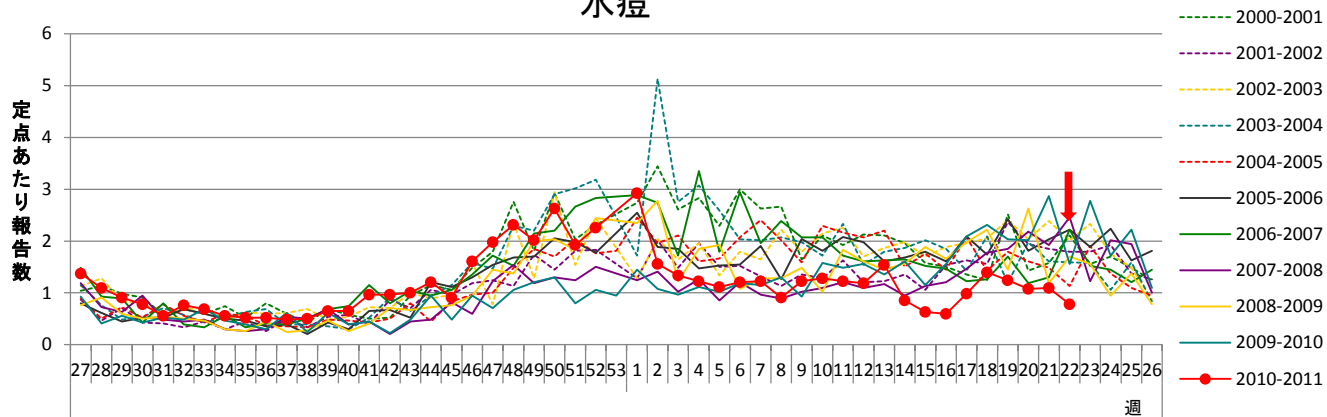
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



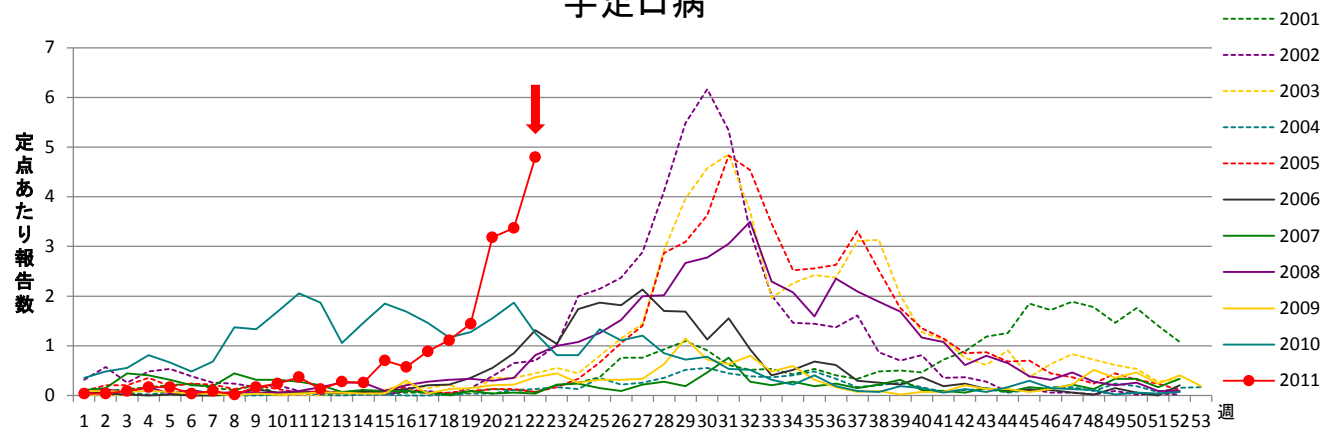
感染性胃腸炎



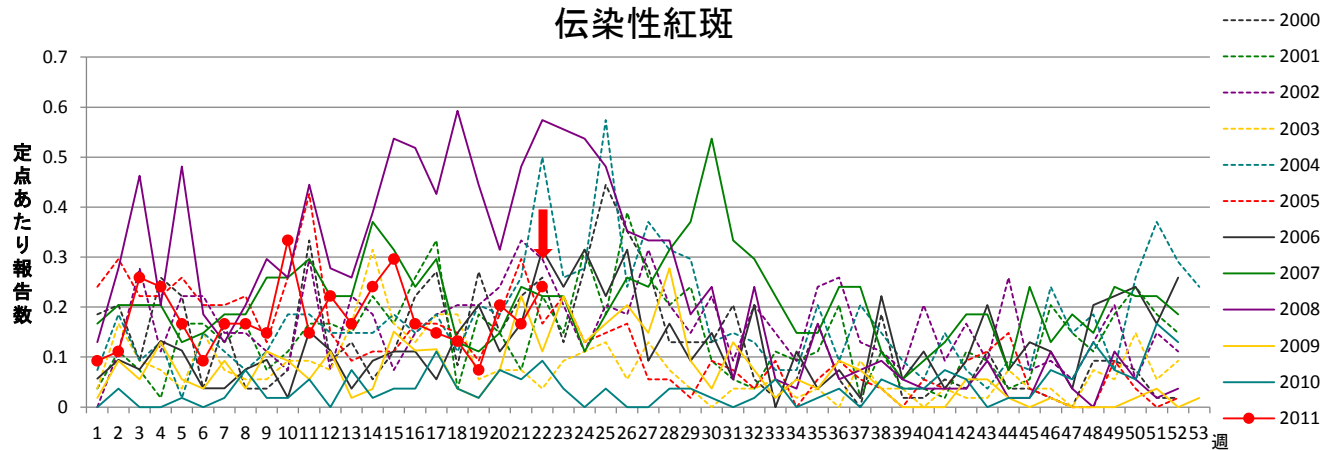
水痘



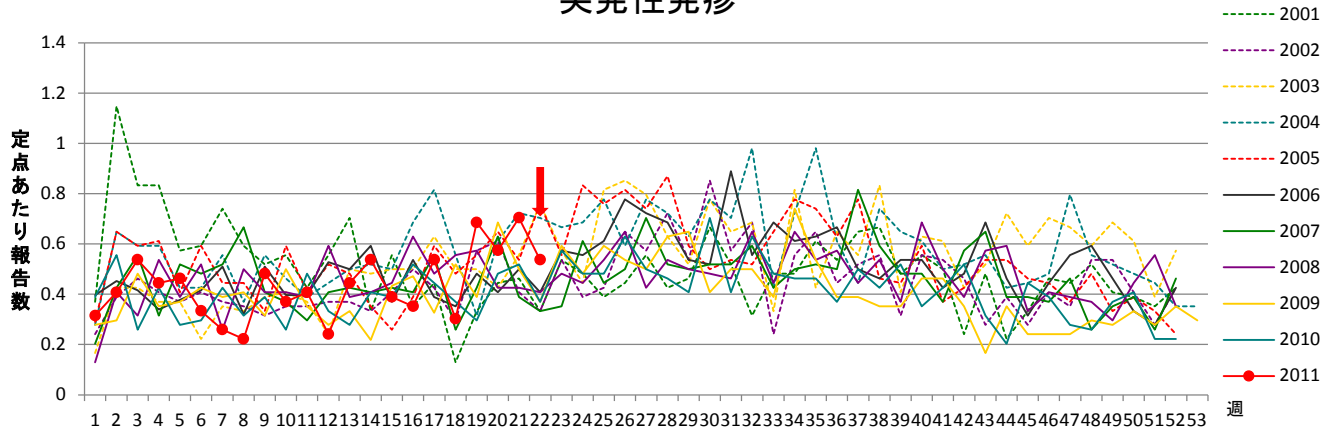
手足口病



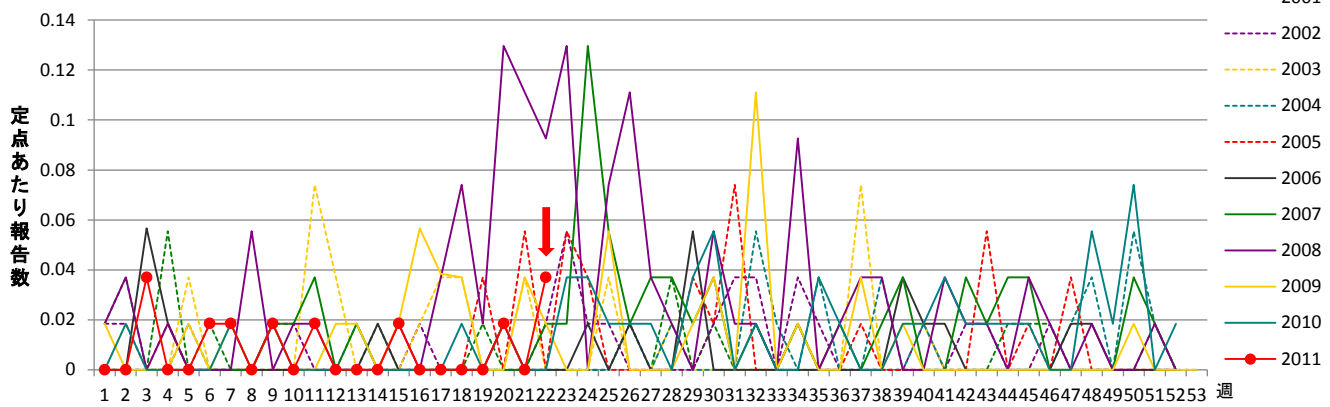
伝染性紅斑



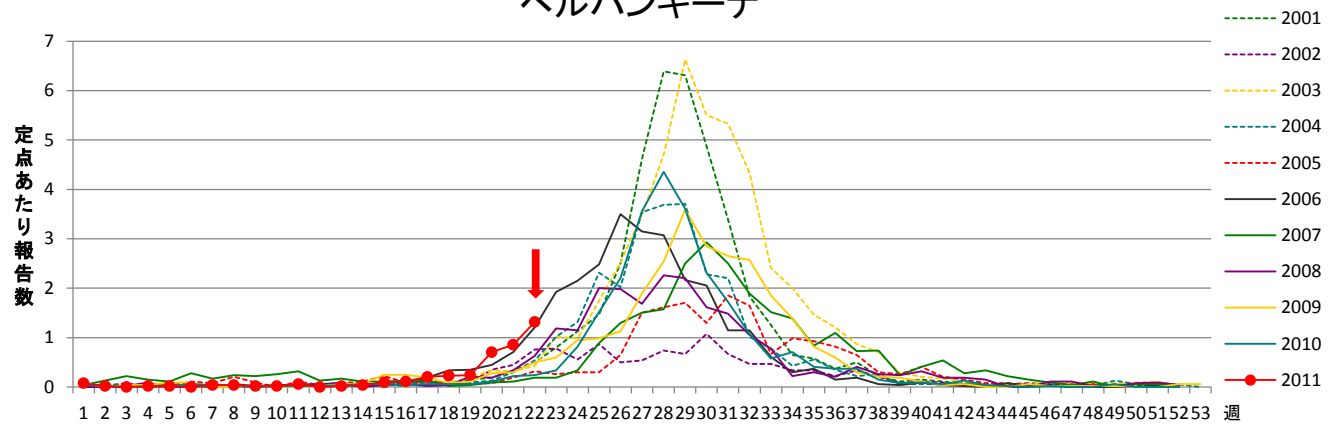
突発性発疹



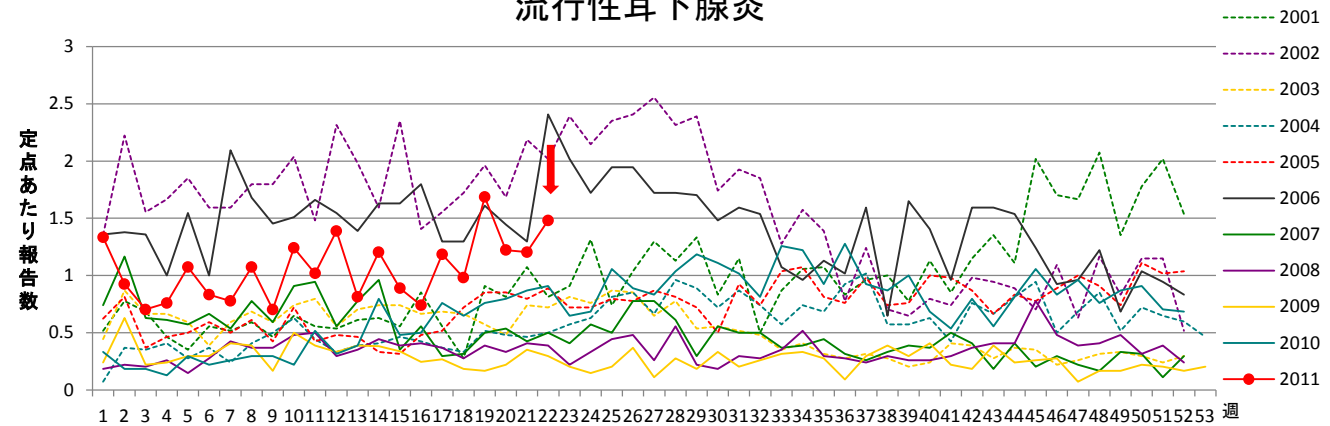
百日咳



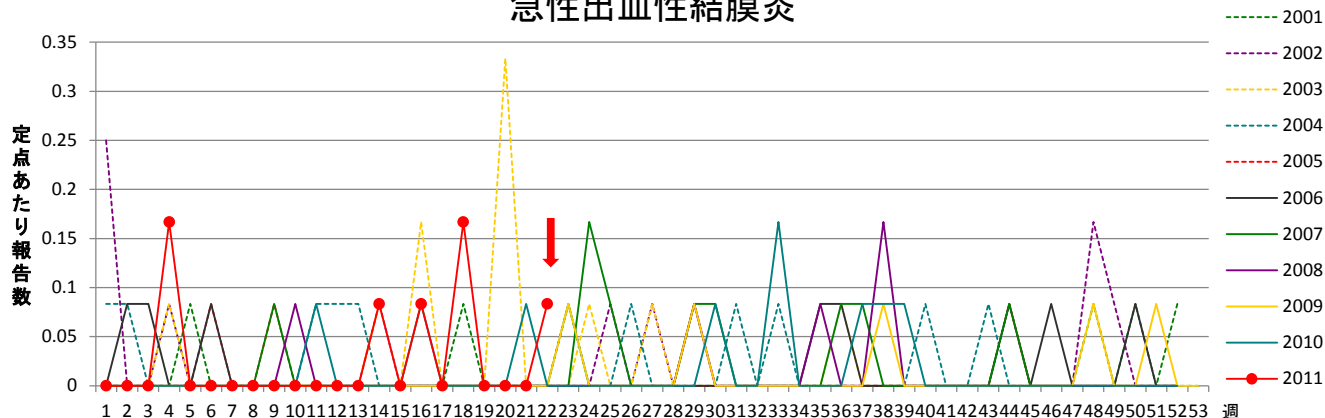
ヘルパンギーナ



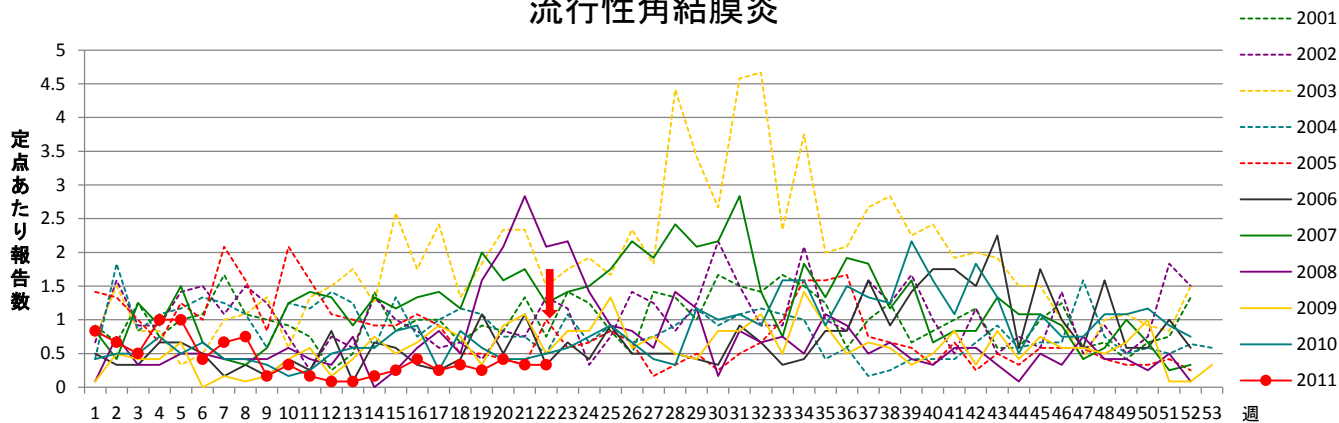
流行性耳下腺炎



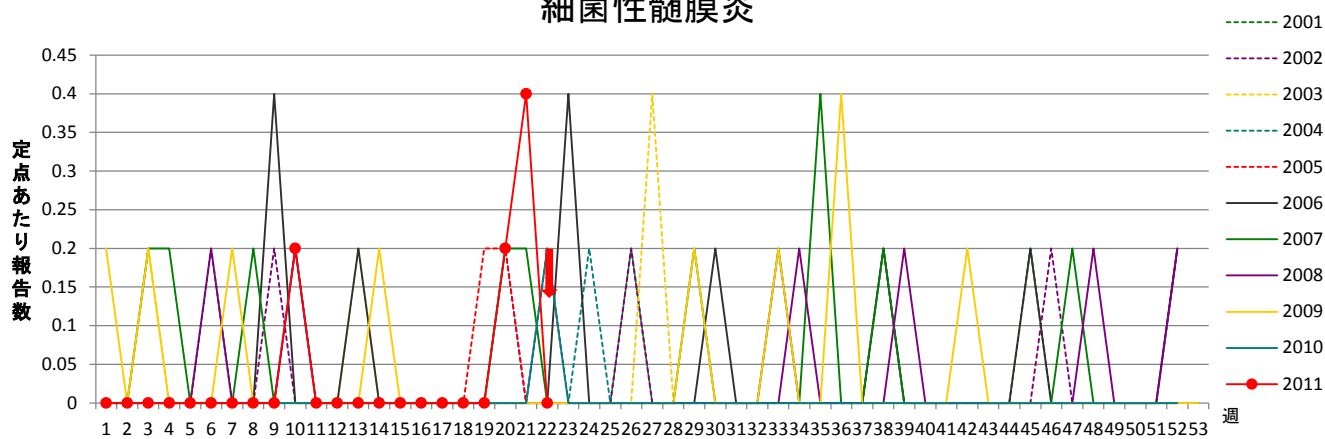
急性出血性結膜炎



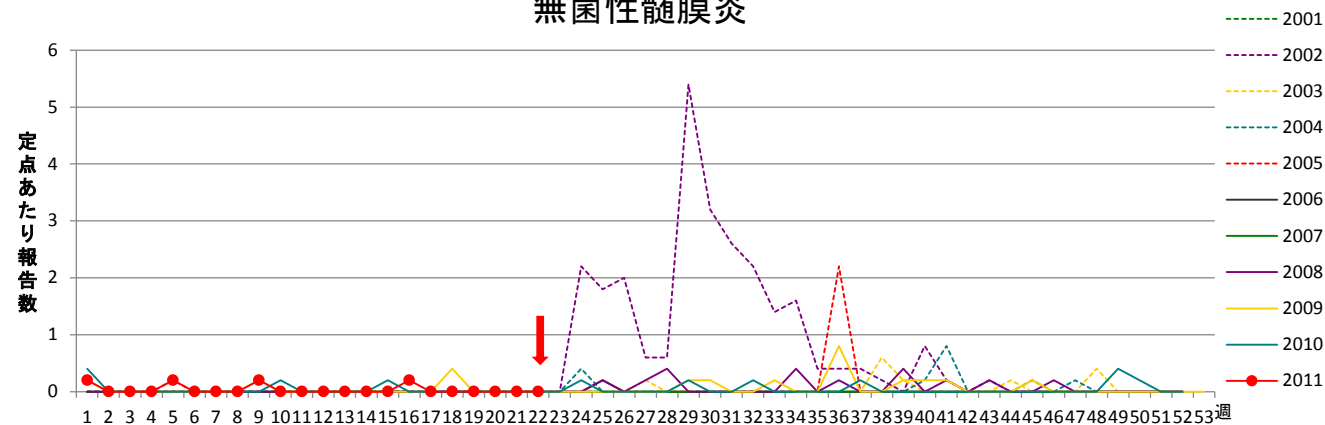
流行性角結膜炎



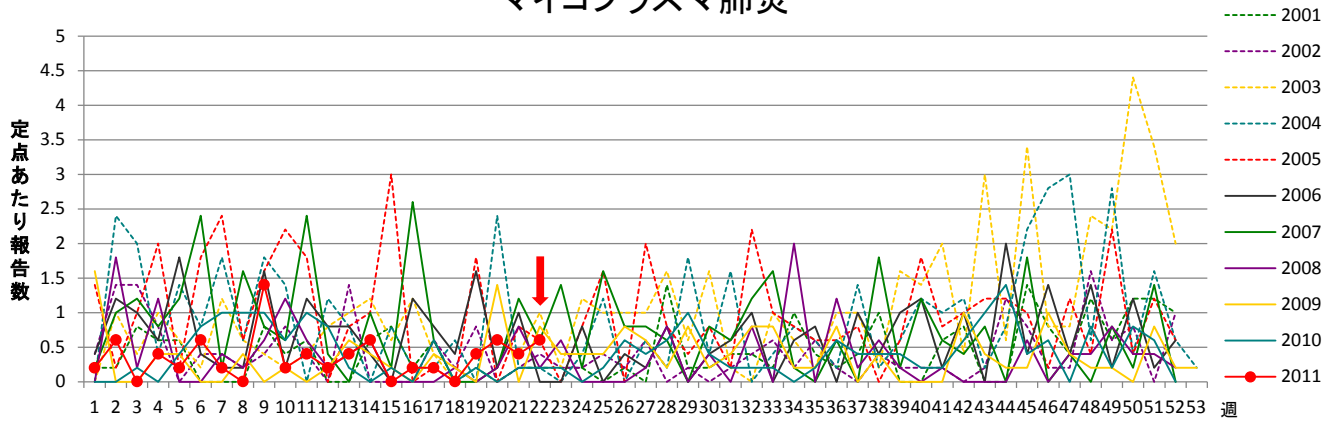
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

